

## 働く＝影響を与える

第6回 明専スクールに参加して得たもの

情報工学府学際情報工学専攻M2 ラフマン シヤハナ



演会・出張報告書の課題・懇親会・明トラと内容は盛りだくさんでしたが、私の中で最も印象に残っており、明専スクールの意義を感じたプログラムは、グループ討議です。

テーマは「今一度企業を考える」。

参考キーワードはCS・CSR・Value

Chain, Innovationの4つ。メンバー

6人でまずは自分たちの内定先がこ

の4つのキーワードをどのように捉

えているか事前に調べ、企業につい

て自分なりの定義をしました。明専

スクールとは別の時間で戸畑に集ま

り、いざ一つの意見にまとめようと

すると、「一つの言葉で表すことが

できない」問題に当たりました。

しかし、私達のグループの強みで

ある柔軟性を最大限に活用し、まず

は企業の成り立ちについて考えるこ

とにしました。そもそも企業はなぜ

誕生するのでしょうか。私たちは昨

日よりも明日を便利にするソリューションを提供するためと考えました。

私は技術で世界を豊かにしたいと思  
い、技術者の道を目指しました。  
就職活動の際にも、社会に大きな変  
革を与える仕事がかとという観点で  
企業選びをしました。しかし、明専  
スクールを卒業した今、働く意味を  
自分の中で再定義できた気がします。  
本ページで皆さんにお伝えしたいこ  
とは山ほどありますが、その一部分  
だけでも共有でき、皆さんが「なぜ  
人は働かなければならないか」を再  
度考えるきっかけになると幸いです。  
明専スクールでは、戸畑・飯塚・  
若松キャンパスから集まった30名の  
学生と九州工大の卒業生で3日間を  
過ごしました。OB・OGによる講

つまり、会社の意義とは社会に存在  
する問題を解決することです。しか  
し、企業が政府や社会団体と異なる  
点はそのような点でしょう。私達は  
「問題を解決し続ける」点にあると  
いう答えを考えました。

このような話し合いを通し、私が  
感じたことは、「働く」とは「自分  
や周りに影響を与える」ということ  
です。OBの話にも度々出てきまし  
たが、価値ある仕事、人に求められ  
る仕事をするには、学び続ける必要  
があるでしょう。私は将来、仕事を  
通して自分自身を大きく成長させて  
いきたいと思っています。そして自  
分が必要だと思った技術は関係会社  
や消費者に影響を与えるはずで  
す。どんな仕事も自分や周りに影響を  
与えますが、私は仕事を通して、身  
近な人々や製品を使用する人に良い影  
響を与え、昨日よりも今日を幸せに  
思う日々が提供できる技術者になり  
たいと思いました。

最後に、明専スクールの準備をし  
てくださった事務局やOBの方、3  
日間サポートしていただいた方に、  
この場をお借りしてお礼申しあげま  
す。そして後輩の皆さん、私達には

たくさん先輩方がいることを忘れ  
ないで下さい。就職先に迷ったとき、  
将来に不安があるとき、九州工大生  
という繋がりでだけで親身に相談に  
のってくれる先輩方がいます。初め  
の一步として、ぜひ明専会を活用し  
てみてはいかがでしょうか。

(平成28年12月記)

